

## 市民意見の募集結果（原文）

番号	意見
1	<p>日曜日にも豊川住宅前からかやの中央にいけるようにしてほしいです。尼谷も利用しますが、栗生団地や小野原東には乗ろうとは思いません。廃止するのは簡単ですが魅力あるルート設定もよろしくお願いします。阪急バスはノンステップバスが少ないのでゆずるバスが障害者の足です。</p>
2	<p>1. ゆずるバスを走らせる目的は何かを思い出してほしい      今回、日祝ルートについては、東部のルート⑤を廃止することですが、そもそも、ゆずるバスを走らせる大きな目的は、平和台や東山住宅など交通不便地域の解消にあったように思います。平和台の方は残りでしたが、ルート⑤を廃止すれば、東山住宅は、走らないこととなります。      「阪急バスや電車の運行していないところや、坂のきついところを丁寧に走らせ、免許証を返上した高齢者をはじめとする住民の足を確保する」ことを忘れてはいけないと思います。東部、特に、東山住宅への乗り入れを廃止すべきでないと思います。</p> <p>2. ルート⑤の設定が住民のニーズに合っていなかった ～東西交通に～      今回のルート⑤の廃止理由は、利用者が少ないということですが、東部の住民の多くは、小野原～東山・間谷を望んでいるのではなく、萱野中央や箕面駅方面など東西交通の足を望んでおり、ニーズに合っていないルート設定のため、利用が伸びなかったのだと思います。（平日の赤ルート・青ルートの伸びをみればわかると思います。）東西を結ぶルートに変更すべきです。      特に、北急延伸をひかえている中、千里中央や北千里に馴染んでしまっている東部住民の生活圈や買い物行動をかやの中央に向けていくため、今から、その日祝の流れを作っておく方がいいと思います。（特に、日祝は萱野付近の渋滞があります。車に頼りがちな東部住民の公共交通利用を促進すべきです。）</p> <p>3. 平日と日祝のルートが違っていると高齢者はわかりにくい      説明会に来られた高齢の方も、「土曜日と日曜日を勘違いして、停留所で長い間待ったが来なかった。おかしいと思って家に帰ってやっとわかった。」と言っておられましたが、平日と日祝で、ダイヤもルートも違うというのは、高齢者にとっては、わかりにくいものだと思います。</p> <p>4. 日祝も平日と同じルートにして利用を定着させる      以上1～3のことから、日祝も、「定着してきた平日ルートと同じルートにしてほしい」と思います。わかりやすく使いやすいため、今回提案の日祝ルートより、この先、利用が伸びていき、収支も改善していくと思います。（平日も現在の本格運行ルートになって約10%収支率が伸びたので、日祝もこのルートにした方が伸び率は大きいと思います。ただ、日祝は、時間帯をもう少し狭くしてもいいかとは思いますが。）目的である交通不便地域を解消し、できるだけ多くの人に公共交通を使ってもらうことで収支も改善するには、平日ルートを日祝にも根付かせるのが最適だと思います。検討をお願いします。</p>

<p>3</p>	<p>(1) 今回の見直しを長期的な視点で捉えてほしい  1年の単位でなく、少なくとも北大阪急行延伸も視野に入れ、長期的な公共交通計画の中での過渡的な位置づけでみてほしい  とりわけ、これからの超高齢社会では、公共交通政策の充実、とりわけコミュニティバスの充実は、健康寿命をのばす政策としても重要になる。少子社会の中で、子どもの時から社会の一員として育つための社会教育の観点からも必要な政策となるだろう。</p> <p>(2) 日・祝日のコースを平日と同じルートとダイヤにしてほしい  この意見は多数寄せられている。高齢者は、頭の切り替えが苦手なワンパターンでないと対応できない傾向がある。  オレンジゆずるバスの乗客の多くは高齢者であり、高齢者に優しいバス運行が求められる。  本格運行になるときに、利用の少ない日曜・祝日を止めて、平日を充実する方に回したのは理解できるが、平日がパターンダイヤになり、利用が増えてきている経過を踏まえ、今後、将来的に同じルートとダイヤにすることを到達点にして、見直しを行ってほしい。</p> <p>(3) 日曜・祝日も市立病院前で乗り降りできるようにしてほしい  病院内の乗り入れがむずかしければ、少なくとも、阪急バスの「市立病院前」のバス停を利用して乗降できるようにしてほしい。</p> <p>(4) 市民と商業者で支えるサポーター制度を  休日はコーヨー・イカリのスーパーの前の道路やかやの中央界隈は車の渋滞がひどく、バスが遅延する原因ともなっている。環境的にも問題である。なるべく、車を使わないようにするために、商店側にも協力を依頼したい。たとえば京都の醍醐コミュニティバスは、商業者や病院も出資し、コミュニティバスを支えている。ぜひ、積極的に働きかけてほしい。協議会の中でも議論すべき課題である。</p> <p>(5) 車内アナウンスやバスの開閉などで高齢者に優しい配慮を  「このバスは箕面駅を経由し、市立病院を通過して、稲ふれあいセンターに行きます」などとわかりやすくアナウンスしてほしい。  また、冷房や暖房の必要な時期に長い時間ドアの開閉により、急激に車内の温度が上がったり下がったりしないよう、ドアの開閉に工夫してほしい。</p>
<p>4</p>	<p><b>「わかりやすさ」「のりやすさ」の考え方を</b>  平日ルートの利用が伸びているなか、平日と日・祝を統一することで、ルート・時刻がわかりやすく、バスを利用しやすい運行にしてほしいです。  ※平和台・如意谷の方が、平日ルートと日祝ルートを同じにすることをどのように考えるのかはわかりませんが、平日・日・祝を同じルートで走行させることを了解いただけるようでしたら、再度、平日ルートですべての路線を走らせることを検討していただきたいと思います。</p> <p><b>「路線バスが進入できない交通不便地域」「駅・病院・萱野中央経由」の考え方を</b>  オレンジゆずるバスに移行するときの ルートを検討する際、「既存路線バスとの競合をさけた運営」を考慮したため、</p>

「もともと路線バスが走っていなかったルートを設定する（住宅地とかやの中央）」「路線バスルートを回避してルートをつくる（住宅地と箕面駅・かやの中央）」など、住民の要望とずれがありました。しかし、ルートの考え方として「路線バスが進入できない交通不便地域に新たなルートをつくる（住宅地内）」「駅・病院・かやの中央を経由する」がありました。

1点目として、東部地域では「東山・間谷住宅のルートは残す」を配慮して検討してきたので、再考を。

2点目として、東部どうしをつなぐのではなく、東部地域から駅につなぐルート。**生活圏・生活スタイルの変更を促す「利用促進の施策」を各方面の関係課・関係者と**ともに

東部については、「生活圏の変更期間」と、「自動車生活からバス生活への移行期間」が必要なので、平和台・如意谷のような利用はすぐに増えないと思います。そのため、新たにその地で生活をはじめ住民がバスに気づき、バス利用で生活圏を市内にみつけてもらうまでの時間は、西部よりも必要だと考えてほしいです。東部地域は、定年を迎え、地域で生活を始めようとする年代の方も多く住まわれています。今後乗客数に変化がおこるよう、既に住んでいる住民に市内の活動を伝えて、転入者だけでなく、市内活動へ移行する年代への情報提供をしてほしいと思います。山をフィールドにした活動、箕面駅周辺の活動、観光や活動をはじめ人を意識した活動・生涯学習の活動に人の流れを作っていくことが、ソフト面として必要なことだと思います。

気になるのは、交通政策課事業のなかで、バス利用促進に影響のある「かやの中央市営駐車場の高齢者料金無料」です。自動車利用の方が、安く・楽に行けるので、イベントなどの行事主催者など特定の利用に限定し、日中活動はバス利用へと結びつけることも大切だと思います。

**協議会の検討の際、財源確保があつての検討になっているように思います。『住宅地と箕面駅・かやの中央がつながるか』『利用客にとって使いやすいか』は基本もってほしいです。**

- 5 平日・土曜ルートは家から近くにバス停があり利用するが、日祝ルートは専用ルートになってから利用したことがない。理由は、
- (1) オレンジゆずるバスは高齢者の利用がほとんどであるため、疲れていてもほとんど座れる機会がない。今回の小型車両は車内が狭いし挙動も悪いしイスの座り心地悪いので、車内居住性が悪い。阪急バスの路線バスの方がずっと乗り心地がいい。
  - (2) 買い物は近くのスーパーで済ますことができ、大きい買い物は千里中央(豊中市)や梅田に出る。かやの中央に行く機会がない。
  - (3) 日祝ルートは本数が少ない割に、阪急バスの既存路線(北大阪ネオポリス線、箕面山麓線、粟生団地線)と運行時刻が被るので、併用しづらいし、遠回りで所要時間がかかりすぎる。
  - (4) 阪急バスで通勤利用していると「環境定期制度」が利用できるもので、一乗車100円でどこまでも乗れる。一方、オレンジゆずるバスは200円。土日祝は阪急バスの方がかえって安くなる。

6	<p>日曜祝日ダイヤの利用率が悪いというのも昨日乗車してみて良くわかりました。私自身の個人的な意見になりますが、利用率を上げるために、まず人の動きを調査すべきだと感じました。日曜祝日は小野原エリアの人、栗生団地エリアの人、如意谷エリアの人などが買い物などで移動手段を抜きにしてどこに向かうのかという調査をして、ルート選定をした方が良いのではないかと感じました。</p> <p>それから、日曜日、土曜日も含めてだと思いますが、箕面の皆様はマイカーを利用して買い物などに出かけるのが多いと思います。そこで、これも私個人的な意見ですが、阪急バスの定期券(区間問わず)を持っている人には運賃を大人100円、子供は50円、もしくは無料にするというのはいかがでしょうか。</p> <p>最後にオレンジゆずるバス全体に関して意見ですが、既存の阪急バスの路線と重なる部分が多く、調整が難しい部分になると思います。箕面市東西の移動にもっとオレンジゆずるバスが有効に活用できることを願っています。それから、山麓線に平日の朝オレンジゆずるバスの回送バスが頻繁に通りますが、この回送バスの1便を山麓線から箕面駅行きとして活用していただけないでしょうか。</p>
7	<p>オレンジゆずるバス(コミュニティバス)が如意谷地域を運行する以前は「陸の孤島とか買物難民」と言われた時期もありましたが平成22年9月以降の運行開始以降、市民病院や市役所、買物についても大変便利になり、100%ではありませんが、多くの住民は高く評価をいたしております。しかしながらまだ途上にあり全て手放して喜ぶわけには参りません</p> <p>さて今回提案頂きました日曜・祝日ルート案についてですが、現在の収支率では4月の見直しは当然だろうと判断しています。当如意谷は現在の運行ルート設定時に「かやの中央や警察前」といった商業施設周辺を運行するよう強く主張してきましたが、いろいろな観点からならず、その結果として当住宅住民による利用が少なく期待に応えられなかった一面も有ったと思います。</p> <p>しかしながら今回の新日曜・祝日ルートの③は概ね当方のかねて主張してきた考えに合致した提案になっており、また他のルートについても同様にかんがりの改善が計られていると評価いたしますが、以下にあげた項目につきましてさらに検討され加味して頂きますようお願い申し上げます。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 現在運行しているオレンジゆずるバスの中で特に平日の赤ルートおよび如意谷・平和台ルートにおいては、遅延が目立ちバス停から徒歩に切り替える方が増えていきます。早急に対策をたて、次ルートに悪影響を引きずらないようにしてください。</li> <li>2. 新日・祝ルート3ルートの中で③の所要時間83分は一番長いコース(①は50分、②は67分)となっており、所要時間長いがゆえ、また遅延が多く発生し結果として客離れが進むと危惧しています。公共交通活性化協議会はその対策をお持ちですか。私どもはその対策として利用客が大幅に指標を下回っている駅の廃止や統合もしくは当コースの短縮化が全ルートにおいてさらに必要と考えます。</li> <li>3. 日・祝ルートで箕面駅西側に位置する「半町や桜井駅」も大事です。同時に陸の孤島である東側地区にも関心を払って頂きたい。地域が主体的に利用者数増加等に向け努力をしている「如意谷地区」のダイヤを優先させた組み立てを希望します。</li> <li>4. 日・祝ルート現行案5便を6または7便への増便を切望します。</li> <li>5. 現在良好な収支の平日コースにおいても、赤ルートについては「かやの中央」まで</li> </ol>

	<p>ダイレクトな延長の検討を今回の日・祝ルートの結果を見た上で導入されんことを要望いたします。</p>
8	<p>日曜祝日運行は廃止するべきである。収支率の目標値に届かない以上阪急バス株式会社の自主的な検証に委ね、1年間の実証運行を行っても利用の増加は望めず廃止するべきである。</p>
9	<p>私の最寄りのバス停は尼谷です。</p> <p>阪急バスでは、千里中央にしか行けず、ゆずるバスには市の東西を結ぶ路線の確保に期待していました。現状は本数が限られ使いづらい面もありますが、以前は行けなかった市役所や箕面駅に乗り換えなしに行けるようになり良かったと思います。</p> <p>この度の見直しではちょうど廃止ルートになっているようです。日・祝日でもかやの中央や箕面駅方面に行く必要はあります。利用者が少ないからと言われると、個人ではどうしようもありません。</p> <p>また平日と日・祝日で運行が変わるのはわかりにくいです。日・祝日は通勤、通学はないので、日中の便だけでも走らせるとかできないでしょうか？</p>
10	<p>「もみじだより」1月号で、上記についての記事を拝見し、私見を述べさせて戴きます。</p> <p>私は、ほぼ毎日「間谷北公園前」を利用するものです。昨年の改定で、定時運行が実現され、利用者にとって大変利用しやすくなり、喜んでいきます。</p> <p>また、収支率(採算)に基づく見直しも、当然で全く異存ありません。ただこの場合、路線をどうするかがkey Pointです。日曜・祝日の⑤ルートは1日平均30人で、この利用状況では、廃止になっても仕方ありません。</p> <p>但し、⑤ルートは最初から利用者があるようには思えません。日曜・祝日の買い物などを考えた時、「かやの中央」が一番大切な場所です。「かやの中央」には行かずに、東山住宅・間谷住宅・粟生団地・小野原間では、その利用度は大変低いものと思います。</p> <p>現に私も、⑤ルートでは、最初から利用者は非常に少ないと推測していましたので、結果をみて、やっぱりと思いました。その結果、⑤ルートが廃止になるのであれば、⑤ルートは最初から、1年の実証運行をやって、廃止に持っていく算段だと思ってしまいます。</p> <p>お願いとしては、⑤ルートも「かやの中央」まで行くようにして戴き、その結果、規定の収支率に達しない場合に、廃止されてもそれは納得です。</p> <p>どう見ても現行の⑤ルートは全くの支線です。支線を設定して、結果が悪い時、ルート設定の良し悪しに言及せず、ただちに廃止されるのは、横暴の誹りを免れないと思います。</p> <p>どうか、納得いく解決を切にお願いします。</p>
11	<p>日・祝には、住んでいる近くをまったくゆずるバスが通行しない。買物に利用したいと思っても利用できない。なぜこのようなルートにしてあるのかわからない。ルートの見直しが必要だと思う。見直せば利用者もふえるのではないか。</p>